

星を見よう — 見上げてごらん夜の星を —

7月は「たなばた」月、五節句の一つである。天の川の兩岸にある牽牛星と織女星が年に一度相会すると言われている。7月7日の夜、星を祭る年中行事、奈良時代に始まり、江戸時代には民間にも広まった。庭前に供物をし、葉竹を立て五色の短冊に歌や字を書いて飾り付け、書道や裁縫の上達を祈る行事である。最近は七夕の飾りもあまり見られなくなりさびしい感じがする。七夕の夜に星空を見上げて天の川をさがすのも風情があって良いのではないのでしょうか。

天の川は陰暦の7月7日頃がよく見える。

今年は8月29日。



焼き肉のタレづくり

今年も頑張るぞーっ！



7月7日・8日は恒例の「焼き肉のタレ」づくりの日である。毎年暑い日に汗をふきふきの作業となる。早くも注文がきている。にんにくの皮むきから始まり、材料を大鍋で煮詰め容器に詰めて完成まで大体二日がかりの仕事である。大変であるが、喜んでくれる人、待っていている人がいるので力が入る。

5月26日

こんぴら健康応援隊(琴平町ストレッチマスター)のご指導で簡単な体操を教
えて下さった。高齢者向きの体操で気持ち良くてできた。

